

～次代へつなく豊かな農業・農協と地域社会をめざして～

# 2016 JA佐渡の経営内容



写真：初夏の味覚「サクランボ」

## プロフィール

設 立	平成5年8月1日
本店所在地	新潟県佐渡市原黒 300-1
出 資 金	26.0億円
総 資 産	1,232億円
組 合 員 数	15,799人 (正組合員8,483人・准組合員7,316人)
職 員 数	454人
店 舗 数	本店、支店 9店

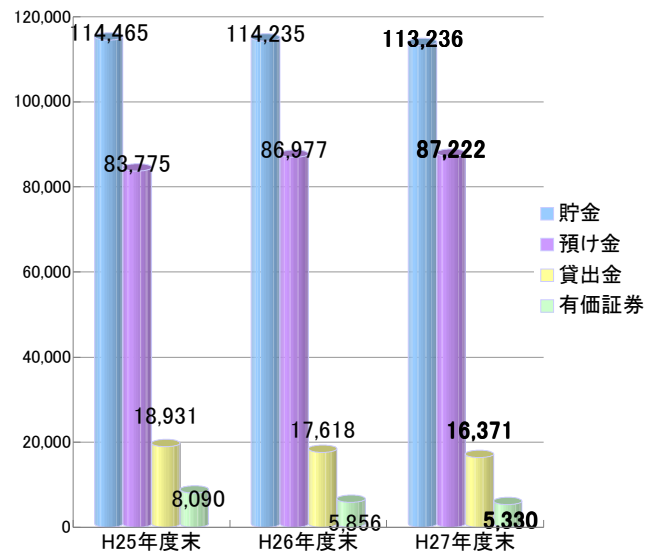
## 平成27年度JA佐渡の経営状況は次のとおりです。

### 主要勘定の推移

(単位:百万円)

	H25年度末	H26年度末	H27年度末
貯金	114,465	114,235	113,236
預け金	83,775	86,977	87,222
貸出金	18,931	17,618	16,371
有価証券	8,090	5,856	5,330

- 貯金残高は、相続貯金の島外流失による影響が大きく計画比98.7%、前年比99.1%と減少に歯止めがかけられませんでした。
- 預け金残高は、貸出金、有価証券運用の減少を反映して着実な信連預金を中心に残高増となりました。
- 貸出金残高は、前年比92.9%と目標を達成できませんでした。公金等の大口資金の約定返済が大きく、融資残高の伸長には至りませんでした。
- 有価証券残高は、低金利の状況から運用残高を伸ばせませんでした。

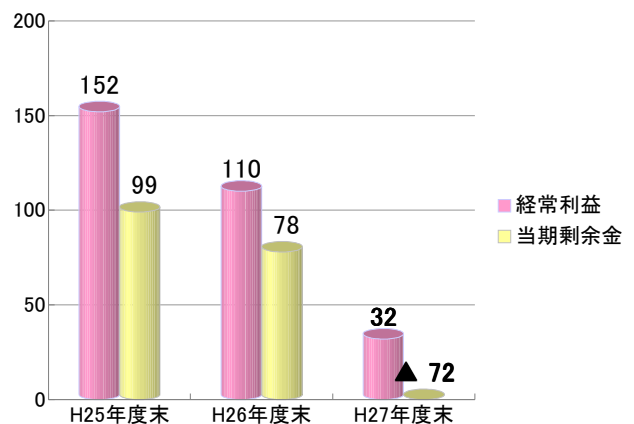


### 収益等の推移

(単位:百万円)

	H25年度末	H26年度末	H27年度末
経常収益	9,516	8,979	8,522
経常費用	9,363	8,868	8,489
経常利益	152	110	32
当期剰余金	99	78	△72
未処分剰余金	181	154	90

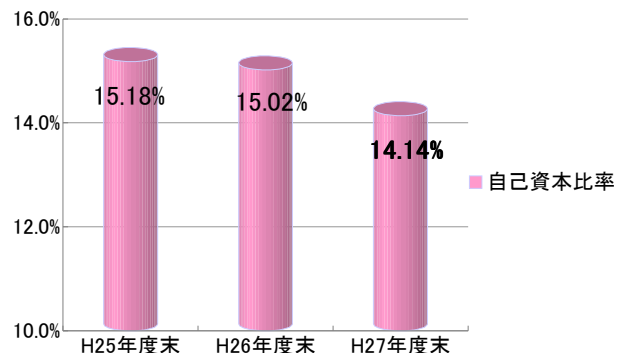
- 生産購買や農機、自動車事業において取扱高が前年を上回ったものの、他の事業の取扱高では前年を下回りました。また、組織・事業見直しの効果は平成28年度以降となることから、結果として17百万円の事業損失となりました。さらに不稼働資産の減損処理等により、最終損益は72百万円の当期損失金となりました。



### 自己資本比率の推移

(単位:百万円、%)

	H25年度末	H26年度末	H27年度末
自己資本額(A)	5,956	5,978	5,902
リスクアセット(B)	39,221	39,798	41,743
自己資本比率 (A)÷(B)×100	15.18	15.02	14.14



- 当JAの自己資本比率は14.14%であり、国内基準(4%)及び国際統一基準(8%)を上回る財務基盤を維持しています。自己資本増強のため、組合員加入促進の取り組みや増資運動に取り組んでおります。

### 自己資本比率の算出方法について

- 出資金や利益準備金、諸積立金等の自己資本額を「分子」に、資産のリスクに応じてウェイトづけをした総資産等(リスク・アセット)を「分母」として算出しています。

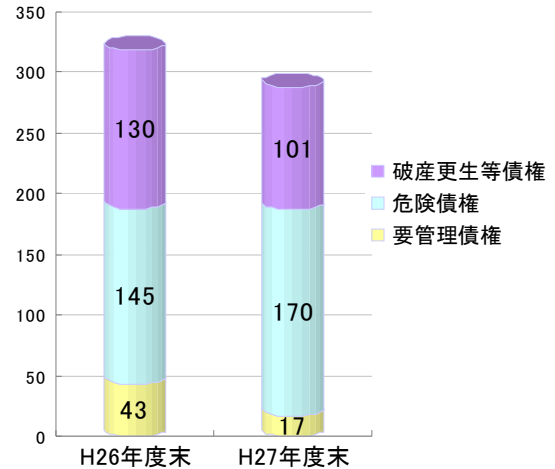
※リスク・アセットとは…万一の場合、貸し倒れの危険性がある資産を項目ごとに貸し倒れのリスクに応じた掛目(リスクウェイト)を乗じた総額をリスク・アセットといいます。

## 不良債権の状況

### 金融再生法開示債権の推移

(単位:百万円 %)

	H26年度末	H27年度末
破産更生等債権①	130	101
危険債権②	145	170
要管理債権③	43	17
小計(①+②+③=A)	318	290
正常債権④	17,483	16,282
債権額合計(A+④=B)	17,802	16,572
債権額に占める開示債権の割合(A÷B×100)	1.79	1.75



## 開示債権と保全の状況

(平成27年度末)

厳格な自己査定を実施し、担保・保証等による保全のない部分に対しては適正な償却・引当等を行うなど、資産の健全性の確保に努めています。

(単位:百万円 %)

自己査定と保全の状況					金融再生法開示債権		リスク管理債権	
債務者区分	残高A	担保等保全額B	貸倒引当金C	保全率(B+C)÷A	区分	残高	区分	残高
破綻先	22	68	66	100.0	破産更生等債権	101	破綻先債権	11
実質破綻先	112						延滞債権	259
破綻懸念先	249	208	40	100.0	危険債権	170	3か月以上延滞債権	-
要注意先	要管理先	27	23	84.9			要管理債権	17
	その他要注意先	560					合計	288
正常先	18,521				正常債権	16,282		
合計	19,494				合計	16,572		

### リスク管理債権について

- 「破綻先債権」とは、未収利息を計上しなかった貸出金（貸倒償却を行った部分を除きます。以下「未収利息不計上貸出金」といいます。）のうち、法人税法施行令第96条第1項第3号イからホまでに掲げる事由または同項第4号に規定する事由が生じている貸出金です。
- 「延滞債権」とは、未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権および債務者の経営再建または支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したものの以外の貸出金です。
- 「3か月以上延滞債権」とは、債務者が利息または元本の支払いを3か月以上延滞している貸出金です。
- 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建または支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金です。

### 金融再生法開示債権について

- 「破産更生等債権」とは、金融再生法に規定する「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」のことで、破産・会社更生・再生手続等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権です。
- 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状況には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 「要管理債権」とは、「破産更生等債権」および「危険債権」を除く3か月以上延滞債権および貸出条件緩和債権です。
- 「正常債権」とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないもので、「破産更生等債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権です。

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

## 有価証券等時価情報

(単位:百万円)

保有区分	平成26年度末			平成27年度末		
	取得価格	時 価	評価損益	取得価格	時 価	評価損益
売買目的	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	499	501	2	-	-	-
そ の 他	5,089	5,356	267	5,162	5,330	167
合 計	5,589	5,856	268	5,162	5,330	167

(注)1. 有価証券の時価は期末時(2月末)における市場価格等によっております。

## 地域経済・暮らしへの貢献

当JAの資金は、その大半が組合員のみなさまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を財源とし、これを生産拡大等の設備投資を必要とする組合員の皆様等に資金としてご利用いただいております。特に、佐渡においては、農業が島の経済に及ぼす影響が大きく、JAは地域農業の維持発展を通して地域に貢献していくという「**農業メインバンク**」として社会的責任を担っております。

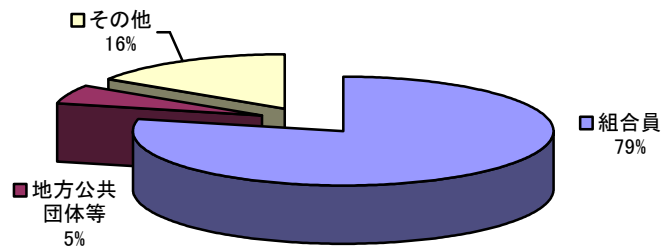
また、年金相談会の定期開催や、融資センターでの平日の営業時間延長や土日の融資相談など利便性の向上、各地域におけるキャッシュサービスコーナーの設置など、地域の皆様の暮らしの支援活動に取り組みながら佐渡における「**生活メインバンク**」として機能発揮に努めております。

## 地域からの資金調達の状況

組合員・地域のご利用者の皆様に信頼され、大切な財産(貯金)をお預かりしております。

(単位:百万円)

種 類	残 高
組 合 員	94,233
地 方 公 共 団 体 等	6,453
そ の 他	12,549
合 計	113,236

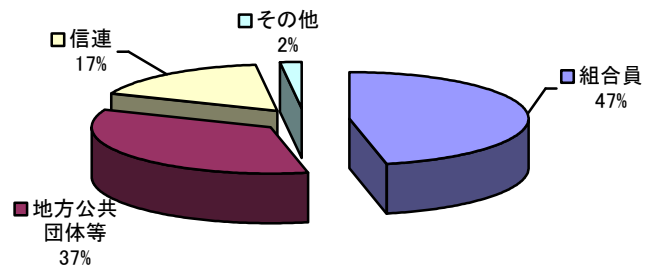


## 地域への資金供給の状況

組合員の皆様をはじめ、地域の皆様に必要な資金をご融資し、地域経済の発展に貢献しております。

(単位:百万円)

種 類	残 高
組 合 員	7,651
地 方 公 共 団 体 等	5,607
信 連	2,800
そ の 他	311
合 計	16,371



※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

## 農業メインバンク機能強化への取り組み

地域密着型金融事業を基本として、農業融資専任担当者による農業者・法人への訪問活動を実施し、ご融資の相談に応じる態勢を整えております。あわせてTAC（営農経済渉外活動）等他部門と連携した相談機能の充実をはかっております。

こうした活動を円滑に実施するため「JAバンク農業金融プランナー」の資格取得を促進し、農業者に対する適切な資金対応ができる農業融資担当者の育成をはかっております。また、JAグループ新潟またはJA独自の利子助成制度による農業者の実質負担金利の軽減をはかるなど、農業者支援の取り組みを行っております。

### 主な農業関係の貸出金残高（資金種類別）

〔貸出金〕		(単位：百万円)
種 類	貸出金額	
プロパー資金	1,463	
農業制度資金	228	
農業近代化資金	127	
その他制度資金等	101	
合 計	1,691	

1. プロパー資金とは、当組合原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
2. 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAが低利で融資するもの、③日本政策金融公庫が直接融資するものがあり、ここでは①の転貸資金と②を対象としています。
3. その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

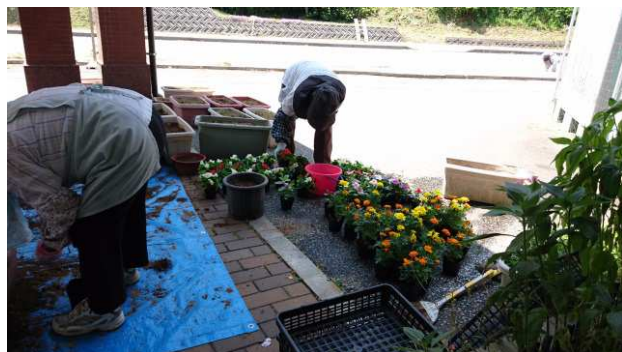
## 社会的貢献活動への取り組み

当JAは、地域金融機関としてどなたからも身近で、親しまれ、選ばれる金融機関であるために経営ビジョンである「地域の未来を育むJA」をめざして、広く地域社会に貢献すべく、次のような活動に取り組んでいます。

- ◆毎年3月と8月には「環境美化ボランティア」を実施し、組合員・全役員参加による全島的な美化活動に取り組んでいます。また、助け合い組織「ほほえみ会」の活動や、青年部や女性部組織による福祉施設等でのボランティア活動や高齢者の意向位の場「ほほえみ広場」を毎年実施しています。
- ◆青果市場などと毎年11月3日に共同開催している「ふれあいアツセまつり」や、各支店を中心に実施する夏祭り・収穫祭など地域住民とのふれあいなど地域貢献活動を大切にしています。
- ◆佐渡市認証米制度を通じた消費者との交流や朱鷺環境整備募金の取り組み等行政と一体となり佐渡島のPRに取り組んでいます。



写真：「ふれあいアツセまつり」での募金活動



写真：ほほえみ会員等による施設ボランティア



写真：環境美化ボランティア（3月、8月）

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

◆JA関連施設での太陽光発電設備の導入など二酸化炭素削減、電力コスト削減をはかるとともに、夏場の省電力PRのための各施設での緑のカーテンの設置などに取り組んでいます。



写真：本店前の緑のカーテンと畑野農業倉庫の太陽光パネル

◆店舗、共同利用施設などのバリアフリー化など高齢化社会に配慮した店舗、施設づくりなど計画的に施設整備を進めています。

## これからも地域と共にあるJAを目指して

当JAでは、営農・金融事業のほかにも各種事業活動やグループ会社の活動を通じて、組合員をはじめ地域住民の暮らしの応援を行っております。

◇Aコープ店：食料品を中心とした「暮らしの拠点」として、各地区に7店舗、佐渡総合病院にそれぞれ売店を設置しております。地場産農産物の販売などで、地域の暮らしと農業生産活動の橋渡し役として店舗運営を行っております。

◇農産物直売所：平成26年8月にオープンしたJA直営直売所「新鮮空間 よらんか舎」と「野菜きて屋まの」、Aコープ各店でのインショップ方式による産直コーナーを通じて、農家の皆様と一緒に地域の消費者へ安全、新鮮な品物をお届けしています。



写真：農産物直売所「新鮮空間よらんか舎」

◇セレモニーホール：増加するホール葬需要に応えるために、グループ会社の運営により島内2か所にセレモニーホールを設置しております。また、自宅葬や出張葬など幅広いニーズへの対応を行っております。

◇セルフスタンド：本土に比べ高い島内のガソリン等の価格の引き下げの牽引的役割として、セルフ方式のガソリンスタンドを島内3か所に設けております。

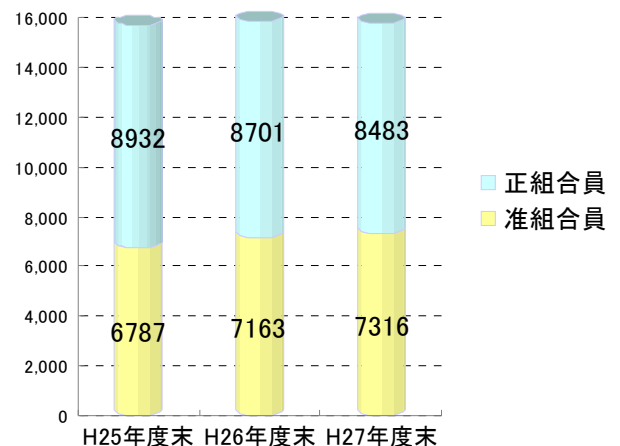
◇総合ポイント制度：各種事業のご利用に応じて会員の皆様へのポイントによる還元サービスを行っております。現在会員数は約28,000名のご加入をいただいております。

★このようにJA佐渡は組合員、地域の皆様の営農と暮らしに密着した様々な事業とともに、組合員加入運動に取り組んでいます。

### 組合員数の推移

(単位：組合員数)

	H25年度末	H26年度末	H27年度末
正組合員	8,932	8,701	8,483
准組合員	6,787	7,163	7,316
組合員計	15,719	15,864	15,799



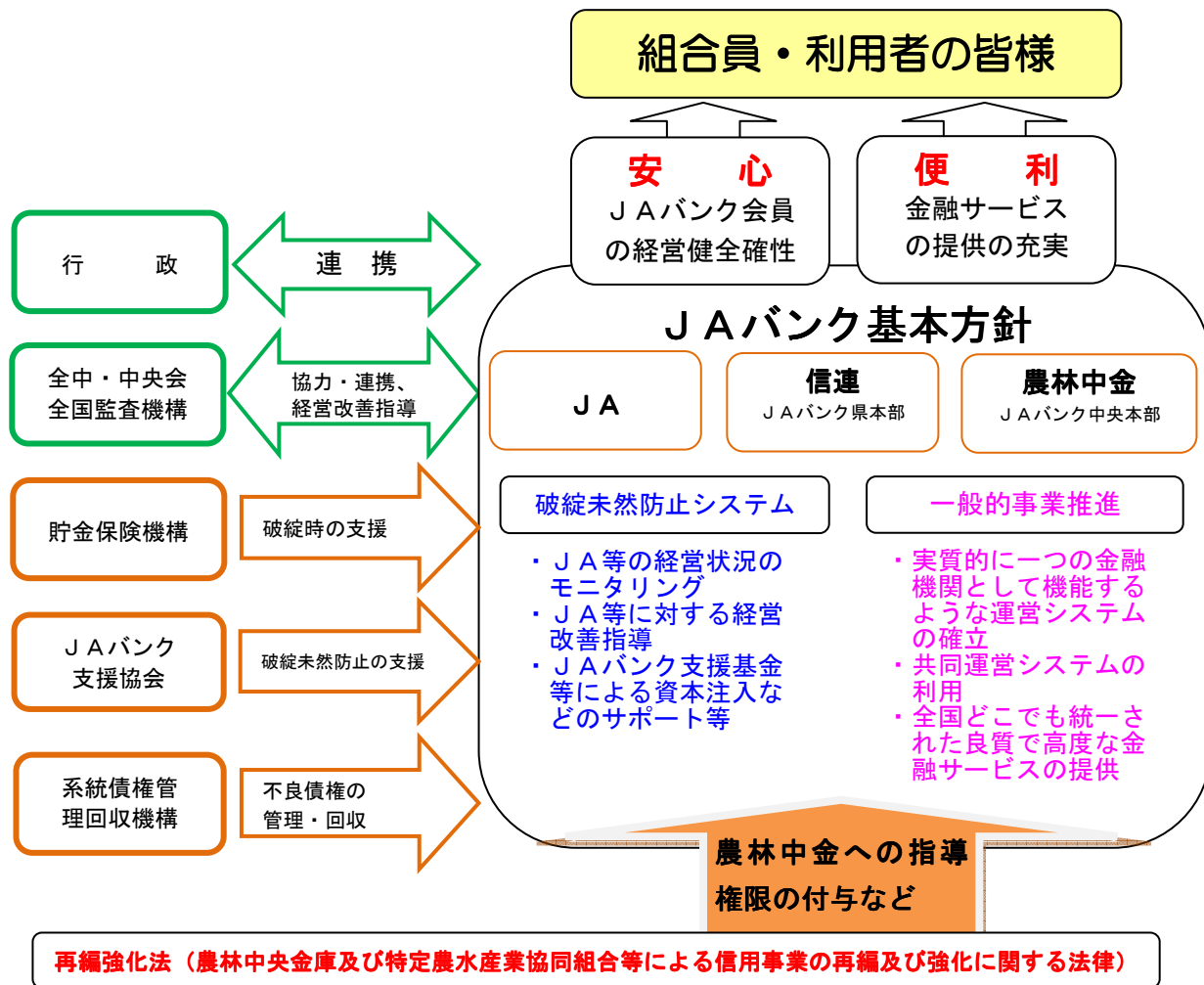
※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

皆様の大切な貯金を安心バンク、JAバンクが守っています。

## JAバンクシステム

JAバンクは、JAバンク会員（JA・信連・農林中金）で構成するグループの名称であり、組合員・利用者のみなさまに便利で安心な金融機関としてご利用いただけるよう、JAバンク会員が一体的に取り組む仕組みを「JAバンクシステム」といいます。

「JAバンクシステム」は、JAバンクの信頼性を確保する「破綻未然防止システム」と、スケールメリットときめ細かい顧客接点を活かした金融サービス提供の充実・強化を目指す「一体的事業推進」の2つを柱で成り立っています。



## JAバンク・セーフティーネット

### 貯金保険制度

- 貯金者を保護するための国の公的な制度で、貯金保護の範囲は「預金保険制度」と同じです。
- 貯金業務を取り扱う全てのJA・県信連・農林中央金庫などが加入しています。

+

### 破綻未然防止システム

- 全国のJAバンクが協力して個々のJAを支援する、独自の制度である「相互援助制度」を一層充実・強化しています。
- 「破綻未然防止システム」とは、JAの経営状況のチェック（モニタリング）、経営改善への取り組み、「JAバンク支援基金」によるサポートを行う仕組みです。

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。



佐渡農業協同組合

編集 佐渡農業協同組合 総務部

〒952-8502

新潟県佐渡市原黒300番地1

TEL 0259-27-6161

FAX 0259-27-6170

Eメール [kikakuka@ja-sado-niigata.or.jp](mailto:kikakuka@ja-sado-niigata.or.jp)

ホームページ <http://www.ja-sado-niigata.or.jp/>



佐渡を世界遺産に

JA佐渡

検索

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。